

2018. 11. 15 第64号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
http://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様

ふかわ秋祭り

去る10月21日、ふかわ・くにくさにて年に一度の大型行事、「秋まつり」を開催しました。例年天候に恵まれないことが多い当施設の祭りですが、この日は朝から快晴で、予定よりも多くの方にご来場いただくことができました。

この秋まつりは「食事」と「神楽」が二大イベントとなっています。今年は恒例のバイキングメニューに加え、奥出雲特産の仁多米の新米を用意し、職員が釜で炊き上げ、その場でおむすびにして提供しました。その甲斐あって、この日、最近食事が減っていたご入居者が、いつもよりたくさん食べて下さいました。それを嬉しそうにみつめるご家族の表情を見ると、また来年も頑張らないと、という気持ちにさせてくれました。来年の秋まつりにも、是非ともご期待下さい。

(ふかわ・くにくさ 支援相談員

村上 哲平)



くにくさ苑
りは・くにくさ



厳しい残暑も去り心地よい秋の季節へ変わるころ、9月15日くにくさ苑とりは・くにくさで敬老会が行われました。また、7月の豪雨災害では安芸地区にも大きな被害をもたらしましたが、今年も阿戸福祉センターにて無事、阿戸地区敬老祝賀会が開催され、数名のご利用者が参加されました。阿戸福祉センターでは地域の中学生、ボランティアグループや自治会の皆様による催し物にて大変盛り上がりしました。くにくさ苑、りは・くにくさからも新人職員によるソーラン節を福祉センターにて披露させて頂きました。施設内での敬老会でも職員による余興やソーラン節に拍手や笑顔を見せて下さり、楽しいひと時を過ごして頂きました。今後のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。

(りは・くにくさ 支援相談員

荒瀬 友紀子)



敬老会



この度、スウェーデン研修に参加させていただきました。研修では、病院やリハビリセンター、市役所などの視察に加え、2週間ほど現地の老人ホームで実際に働き、ご入居者やそのご家族、スタッフの方々と関わらせていただきました。現場ではご入居者とスタッフさんが一緒にコーヒーを飲み、語らうとても穏やかな時間が流れていました。そのアットホームな雰囲気を作り出すために、表情や声かけだけでなく、さりげないアイコンタクトやボディタッチに気を配っておられ、ご入居者それぞれが喜ぶ関わり方を職員間で共有しておられました。スタッフの皆さんが、一つひとつのケアには根拠がある、と口をそろえて仰っていた理由がわかりました。

今回の貴重な経験を今後の仕事に生かしていきたいと思えます。このような機会を与えて下さり、送り出して下さった皆様に感謝しています。



加地 真理子
同志社大学
社会学部社会福祉学科

また居室の設えはベッド以外、ご自分の家具が持ち込まれその方の色が出ていて、本当に自宅に居る様な温もりのある空間でした。

この3週間スウェーデンの福祉を肌で感じる事ができ、とても刺激のある研修でした。また沢山の人の優しさや温もり、人と人の繋がりに触れた事は、私にとってかけがえのないものになりました。

パティレ市での施設研修では、福祉用具を用いての介助等や入居者との関わりを見聞し、実際にケアにも入ったり一緒にお茶したり散歩等にも行きました。

ケアは画一的でなく、一人ひとりの生活の流れに合わせて、想いに寄り添ったケアで、入居者職員共に笑顔が溢れていました。安心感を与え喜びを広げる事が大切と伺い、私も改めて想いに寄り添ったケア、安心感や喜びを届けられる存在でありたいと思いました。



申島 梓
広島文教女子短期大学
生活科学科



広島市長 表敬訪問

平成30年5月11日、スウェーデンアルマス高からの実習生、コッキー・ラーソンさんとカイサー・ペターソンさん、黒瀬高校慶徳校長と社会福祉法人順源会山崎理事長と共に松井一實広島市長を表敬訪問致しました。

スウェーデンアルマス高は、平成25年より広島県立黒瀬高校と姉妹高として在校生の相互留学・現場実習を行っておられます。アルマス高は、スウェーデンボロース市の高校で介護や調理、理美容等を学べる専門的な高校で、介護科を持つ黒瀬高校と介護の領域で交流を続けておられます。

あと会は交流当初よりアルマス高からの留学生の介護実習を請け負う形でご協力させていただいております。松井市長から「広島印象はいかがですか？」と



尋ねられると、留学生も「人もやさしいし、きれいな街ですね」と応えられる等、和やかな時間を過ごさせて頂きました。
黒瀬高校の卒業生も数多く活躍するあと会では、今後も両校の交流に少しでもお手伝いをさせていただきたいと考えております。



出身地
生まれは、熊本県 宮野古城（父親が日本人です）
現在は、ドイツのハノーバー（ハノーファー）に在住
なぜ、日本でボランティアをしようと思ったか
・日本で会話をたくさんして、日本語を上達させるため
・日本の文化を多く知りたい
ボランティアで学んだことを大学の勉強に活かしたい
日本でチャレンジしてみたいことは？



出身地
・フリードリヒスハーフェン
なぜ、日本でボランティアをしようと思ったか
・日本語を勉強するため
・祭り、生け花、神社、神楽など日本の文化を知り、良い経験をしたいため
日本でチャレンジしてみたいことは？
・親元を離れ、一人で暮らしていくこと
ボランティアの仕事頑張ること

マリア・シイバさん

・漢字をたくさん覚えること
・広島のおいしい食べ物いろいろと食べること
・卓球の試合に参加し、優勝すること
・日本語能力試験N3を受験すること
好きな日本の料理は？
・日本の鍋料理
・焼肉
・おばあちゃんの煮つけ
最後に一言
笑顔で頑張りますので、よろしくお願ひします。

メリット・クリステンさん

・バドミントンをすること
・日本語の勉強をたくさんすること
好きな日本の料理は？
・カレーライス
・もち
・おだんご
・ツナマヨおにぎり
最後に一言
一年間よろしくお願ひします。

平成29年度 資格取得者発表

社会福祉法人

くにくさ苑

- 大本 誠司
介護支援専門員
- 賀佐見 晴香
社会福祉士

りは・くにくさ

- 板本 聖司
介護支援専門員

くにくさ居宅

- 池田 美智恵
主任介護支援専門員

包括支援センター

- 西廻 幸平
介護支援専門員

グループホーム

- 沖本 清美
介護支援専門員
- 高東 まり子
介護支援専門員

小規模多機能型居宅介護

- 岩永 美恵
介護支援専門員

特養でじま

- 伊達 貴洋
介護支援専門員

- 中川 広太郎
介護福祉士

- 中島 美保
介護福祉士

有料でじま

- 桑原 朋代
介護福祉士

でじま居宅

- 水口 美保
介護支援専門員

宇品訪問介護

- 原田 綾
介護支援専門員

医療法人社団

ふかわ・くにくさ

- 大久保 理加
介護福祉士

- 畑矢 智子
介護福祉士

- 北瀬 茜
介護福祉士

平成29年度 決算状況報告

平成29年度の財政状況についてご報告致します。またこの財務諸表は、平成30年6月4日、社会福祉法人あとの会の監事による監査の結果適正と認められました。ことも併せてご報告させていただきます。各財務諸表の詳細につきましては、法人窓口またはホームページをご参照ください。

財産目録

社会福祉法人あと会 平成30年3月31日現在 単位：千円

単位：千円

単位：千円

事業活動収支計算書	
事業活動収支の部	
事業活動収入	2,193,011
事業活動支出	2,044,278
事業活動収支差額	148,732
事業活動外収支の部	
事業活動外収入	9,589
事業活動外支出	25,873
事業活動外収支差額	△16,283
特別収支の部	
特別収入	1,862
特別支出	3,839
特別収支差額	△1,976
当期活動収支差額	130,472
前期繰越活動収支差額	1,103,041
次期繰越活動収支差額	1,233,513

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,196,060	流動負債	340,390
基本財産	2,554,055	固定負債	1,499,651
その他 固定資産	128,859	純資産の部	
計	3,878,975	基本金	283,656
		国庫補助金等 特別積立金	521,762
		次期繰越活動 収支差額	1,233,513
計	3,878,975	計	3,878,975

資産の部	金額	負債の部	金額
1. 流動資産	1,196,060	1. 流動負債	340,390
2. 固定資産		2. 固定負債	1,499,651
(1) 基本財産	2,554,055		
(土地)	(661,724)		
(建物)	(1,892,331)		
(2) その他の固定資産	128,860	負債合計	1,840,042
固定資産合計	2,682,915	差引純資産	2,038,933
資産合計	3,878,975	負債・純資産合計	3,878,975



12・1月の行事予定

- 12月 クリスマス
- もちつき
- 1月 元旦祝賀会

このほかに、毎月
ショッピング、コンサ
ート、誕生日会を行なっ
ています。

はや向寒の候となり、日脚もずいぶん短くなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
阿戸エリアでは、9月15日(土)に敬老会を開催し、新人職員がソーラン節を踊るなど、職員一同で、ご利用者の皆様をお祝いさせていただきました。ふかわエリアでは、10月21日(日)に秋祭りを開催し、神楽の勢いある迫力に皆様、魅了されておられました。各拠点で行われた秋の行事に皆様とても喜ばれておられました。
今号はこの他にも、スウェーデン研修やアルマス校の広島市長表敬訪問など内容濃く、たくさんの記事を掲載させていただきました。12月はクリスマス会や餅つき会等、季節の行事を予定しております。皆様に楽しいひと時を過ごしていただけるよう準備していきたいと思っております。
今年の広報誌は今回が最後の発行となります。来年も皆様にとって素晴らしい年になりますよう職員一同願っております。
(くにくさ苑 介護職 武田 正登)

